

子どもたちの自立と社会参加をめざす

令和3年3月発行

第3号

兵庫県立和田山特別支援学校

朝来市和田山町竹田1987-1

TEL.079-674-0214

わとく地域支援センターだより

KIDS（乳幼児発達スケール）について紹介します。KIDSは、身近な大人が対象の子供の自然な行動全般を観察することによって9つの領域を得点化し、発達年齢、発達指数、領域プロフィールが分かります。領域は、「運動」「操作」「理解言語」「表出言語」「対子ども社会性」「対成人社会性」「しつけ」「食事」の9つです。9領域すべてを読み、○か×に印をつけます。記入は約15分です。

検査用紙は、タイプA（1ヵ月～11ヵ月）タイプB（1歳0ヵ月～2歳11ヵ月）タイプC（3歳0ヵ月～6歳11ヵ月）（就学児を除く）タイプT（0歳1ヶ月～6歳11ヵ月）（発達遅滞傾向向き）の4種類の中から、年齢に応じた用紙を使用し検査します。

KIDSの特徴

- ①母親、支援者記入式。
- ②検査場面を必要とせず、どこでも実施できる。
- ③普段の生活全体から評価ができる。
- ④記入に必要な時間が短い（約5分）
- ⑤発達年齢・発達指数・領域プロフィールが分かる。

検査項目例

- ① 運動
 - ・リズムをとって体を動かす。・つま先立ちできる。・スキップができる。・一人で縄跳びができる。等
- ② 操作
 - ・落ちていた小さな物をひろう。・ドアを一人で開閉する。・人形を使って遊ぶ。・折り紙で鶴がおれる。等
- ③ 理解
 - ・物の名前を聞いてその絵を指摘する。・10まで数えられる。・ひらがなで書かれた自分の名前が読める。等
- ④ 表出
 - ・3語以上の言葉を使い分ける。・遊びながらよくしゃべる。・両親の名前が言える。等
- ⑤ 概念
 - ・「大きい・小さい」が分かる。・「勝ち・負け」が分かる。・「左・右」が分かる。「無駄」が分かる。等
- ⑥ 対子ども
 - ・友達と手をつなげる。・友だちを家に誘う。・ジャンケンで順番を決める。等
- ⑦ 対成人
 - ・母親にまわりつく。・親に馬になれとせがむ。・褒められると、もっと褒められようとする。等
- ⑧ しつけ
 - ・自分の排泄物に興味を持つ。・「オシッコ」を前に知らせる。・箸が使える。・毎日決まった時間に寝る。等
- ⑨ 食事
 - ・テーブルの上をかき回す。・口の中に入れる量を調節できる。手をよごさないで食事をする。等





領域ごとの得点を発達プロフィールに転記しグラフ化することで、その児童生徒の得意不得意がわかりやすく見えてきます。例の場合③理解と④表出、⑦対成人の発達年齢が他と比べ、低くなっています。この場合③理解を高めると、言葉を理解することで言語表出が増え、大人とのコミュニケーション能力も高まると考えることができます。また、①運動や⑧しつけが、この子の強みであることもわかります。発達プロフィールを元にその児童生徒に応じたアプローチ方法や支援方法が見つかるかもしれません。検査を受け診断結果を知るだけでなく得意不得意を見極め、ひとりひとりに合った困りごとへの対応を心がけることが大切です。

文：小学部 田中翼

【参考文献】 KIDS 乳幼児発達スケール
財団法人 発達科学研究教育センター

お問い合わせ・教育相談は、
わとく地域支援センター

TEL 079-764-0214
Mail wadayama-sn-su@hyogo-c.ed.jp

兵庫県朝来市和田山町竹田1987-1
兵庫県立和田山特別支援学校 担当：小倉弘貴

